

兵庫県保険医協会北阪神支部

— 第27回支部総会記念・市民公開講演 —

入場無料

# メタボ時代の適量飲酒とは



講師 慶應義塾大学看護医療学部教授  
**加藤 眞三 氏**

日時 10月20日(土) 15:00 ~ 17:00

会場 伊丹市立商工プラザ4F 会議・研修室A  
(伊丹市宮ノ前2-2 阪急・JR伊丹駅から徒歩約8分)

懇親会 17:30 ~ (於・長寿蔵)

酒量が増えると、肝硬変や慢性膵炎だけでなく、胃腸、心臓、脳、神経、筋肉、骨、生殖器と数多くの臓器が侵される。肝臓、食道、咽頭・喉頭、口腔、乳房、大腸の発癌も増える。酒害は、身体面にとどまらず、精神や心理面にも現れる。健康増進のためには「半酔い」の飲み方が望ましく、一日に日本酒1合あるいはビール中瓶一本程度の量に相当する。また、メタボ時代を迎えて、肥満がアルコールの害を増幅することも証明されてきた。アルコールと健康について、最新の科学的な知見を交えて紹介したい。(加藤記)

### 加藤 眞三 (かとう しんぞう) 氏ご紹介

1956年生まれ/慶應義塾大学医学部卒/ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員、都立広尾病院内科医長・内視鏡科科長、慶應義塾大学医学部専任講師を経て2005年から慶應義塾大学看護医療学部教授  
現在に至る/主な著書『肝臓病教室のすすめ』『患者の生き方—よりよい医療と人生の「患者学」のすすめ』『患者と作る医学の教科書』ほか多数

お問い合わせは、TEL: 078-393-1805 事務局 駒ヶ嶺(コマガミネ)・小川まで

(切り取らずにご返信ください)

【 FAX要返信 】 078-393-1802

※□にレ印を入れてお返事をお願いします。

### ○北阪神支部総会議事

(14:15 ~ 14:45 ・ 4F 会議・研修室 B)

□出席

□欠席 (議事の一切を議長に委任します)

### ○記念講演 (15:00 ~ 17:00)

□出席 □欠席

### ○懇親会 (17:30 ~)

□出席 □欠席

地区 \_\_\_\_\_

御氏名 \_\_\_\_\_

医療機関名 \_\_\_\_\_

## 兵庫県保険医協会

# 北阪神支部 ニュース

2012年10月5日号 No.223

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部  
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

### 第8回在宅医療研究会「認知症の知識」

北阪神支部は9月8日、第8回在宅医療研究会を伊丹シティホテルで開催。「認知症の知識～アルツハイマー型認知症の話題と当院の認知症診療から～」と題し、つちやま内科クリニック(西宮市)の土山雅人先生が講演した。医師、コメディカルら95人が参加した。以下、感想文を紹介する。

### 【感想文】

## A Dの最新治療に衝撃

普段の日常診療において、高齢化社会の真っ只中にいることを実感している。“在宅ケアの充実”をはじめ、世の中、スローガン?だけが目立つなか、圧倒されつつもそれを自分なりにいかに咀嚼しようかと日々悩む毎日である。そこで今回、「認知症の知識」を土山先生が講演していただけると伺い、参加させていただいた。

先生は講演の中で、高齢化率の推移に始まり、実は高齢者のみの世帯数が1000万世帯に達していることから、最新の画像診断、臨床症状出現の相当前からアミロイド蛋白が出現していること等々を非常にわかりやすく説明して下さった。特に、MCI(軽度認知障害)の段階で将来はバイオマーカーでアルツハイマー型認知症の可能性を判断できるという話はなかなか衝撃的なものであった。認知症の治療というと現在の薬物療法のみが喧伝されるなか、あくまで今の薬は「症状改善薬」であり「病態改善薬」では

ないと教えていただき、大変知識の整理に役立った講演であった。

普段はなるべく客観的な診断を心がけているつもりだが、つい患者さんを前にすると「治療的診断」をしてしまいがちである、と反省している。「何を目的に治療するか」という基本から考えさせてもらい、大変勉強になった。

(伊丹市・片岡医院 片岡 徳内)



講師の土山先生(上)  
座長の林副支部長(下)



会場からは投票や在宅ケア、患者・家族との関係など質問が相次いだ

## 「認知症の知識」参加者の感想

- ・アルツハイマー型認知症等には段階があり、その段階ごとでの関わりや、終末期での関わりなどわかりやすかったです(看護師)
- ・非常にバランス感に富んだ現場診療医の考え方があふれていました(医師)
- ・以前から家族会やヘルパーさんの勉強会などにはよく参加しておりましたが、医師からの病態生理をまじえた話は見方がわかり本当に参考になりました(看護師)
- ・最新の知識が得られ、事例もわかりやすくとでも参考になりました。認知症は高齢化社会でますます増え問題になると思います。予防のため、糖尿病予防も大切ということもよくわかりました。熱心に講演いただきありがとうございました(看護師)
- ・認知症を老化現象と同じように考えていましたが、脳の変性が起こっていることをあらためて実感しました。原因を知った上で、個々の疾患を持った方々に対応していきたいと思います(看護師)
- ・医療面での専門的なお話しと、介護の面でもわかりやすく説明していただき、内容の濃い研究会であったと思います(ケアマネ)
- ・利用者の中にも認知介護のご家庭が少なくなく、現場での在宅生活のアドバイスにいかせる講演を聞かせていただきました。とくに他病も併発されている方への理解が深まりました(看護師)
- ・医学的見地からの認知症のお話は普段学べる機会が少ないため大変勉強になりました。「善意や熱意、ケアの方法だけでは本当に認知症の方の対応をすることはできない」という言葉は衝撃的でした。医学的知識とケアにたずさわる各々の専門性を合わせてケアを行っていくことが重要であるとわかりました(ケアマネ)
- ・脳機能の低下の変化に伴ってセロトニンが足りないとかで、それにともなった治療ができるようになったということがとても新鮮でした。アルツハイマー型認知症といっても脳の場所によって色々な病気があるのだと思いました(薬剤師)
- ・認知症の基礎から実地まで幅広い内容をわかりやすく説明していただきありがとうございました。とくに実地症例が勉強になりました(医師)

## 5/27 丹波焼陶芸体験教室・感想文

### できあがった作品に感動



医療機関スタッフ、家族ら18人が参加

先日は大変貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

今回のような経験は自分自身も小学生以来の経験でした。最初は苦手意識がありましたが、作っていくうちにいつの間にかとても集中していました。正直思ったようにできず、もどかしい思いもありましたが、できあがってきたものを見て、決して上手くはないですが世界にひとつしかない、という愛着を感じてとても感動しました。

小学5年生の息子もとても貴重で楽しい経験だったよう

で、出来てきたお皿をさっそく使っていました。とても大事にしています。ほんとうにありがとうございました。

(伊丹市・林医院 白石 紀代子)

## 宝塚社保協第8回定期総会

### 「社会保障・税一体改革」反対の取り組みを一層強めよう

社会保障をよくする宝塚の会(宝塚社保協)は7月24日、宝塚市立西公民館で第8回定期総会を開催。市民ら37人が参加した。

記念講演では神戸大学名誉教授の二宮厚美先生が「社会保障・税一体改革と野田政権のゆくえ」と題し講演。「社会保障をおとりに消費税増税を達成することが一体改革の正体」とし、「この間サラリーマンの所得は大幅に減った。消費低迷、デフレの中で増税することによってさらなる不況と税収低迷につながるだけだ」と消費税増税の問題を指摘したほか、一体改革は「社会保障の理念を“国民相互の助け合い”へと根本から覆す」とし、民主党の自民党と一体となった新自由主義路線への回帰を批判した。

また「維新の会」についても「混合診療の全面解禁など医療・社会保障分野を見てもよりラディカルな新自由主義・構造改革路線だ」と注意を促した。



宝塚市への社会保障改善要求を決議

社会保障財政のあり方について講師は、「消費税増税や借金をせずとも、大企業、大金持ちから税金をきちんと取ればいい。大金持ちにやさしい所得税率を元に戻し垂直的所得再分配の再構築をすべき」と訴えた。

総会では中井通治支部長、脇野耕一副支部長が副会長に再選された。挨拶にたった脇野先生は「社会保障・税一体改革に立ち向かう運動に力を合わせよう」と訴えた。



講師の二宮厚美神戸大学名誉教授(上)挨拶する脇野副支部長(下)



## 第302回幹事会だより

9月8日(土) 於・伊丹シティホテル 参加: 8人

### ◆北阪神支部の会員数と組織率

9/7現在 医科320人(70%)、歯科161人(51%)

### ◆医療をめぐる情勢と運動対策

県立こども病院移転問題、看護師不足の問題などについて議論しました。

### ◆当面の支部活動

10月20日(土)14時15分~伊丹市立商工プラザで第27回支部総会を予定。

### ◆次回の幹事会

10月4日(木)14時30分~伊丹市立商工プラザ4F研修室B

会員の先生方はどなたでもご参加いただけます。

お問い合わせはTel 078-393-1805 駒ヶ嶺・小川まで